

IoTセキュリティの国際動向 ～法規制やサートیفिकーションはどうか？～

2019年12月20日

CCDS ストラテジックアドバイザー

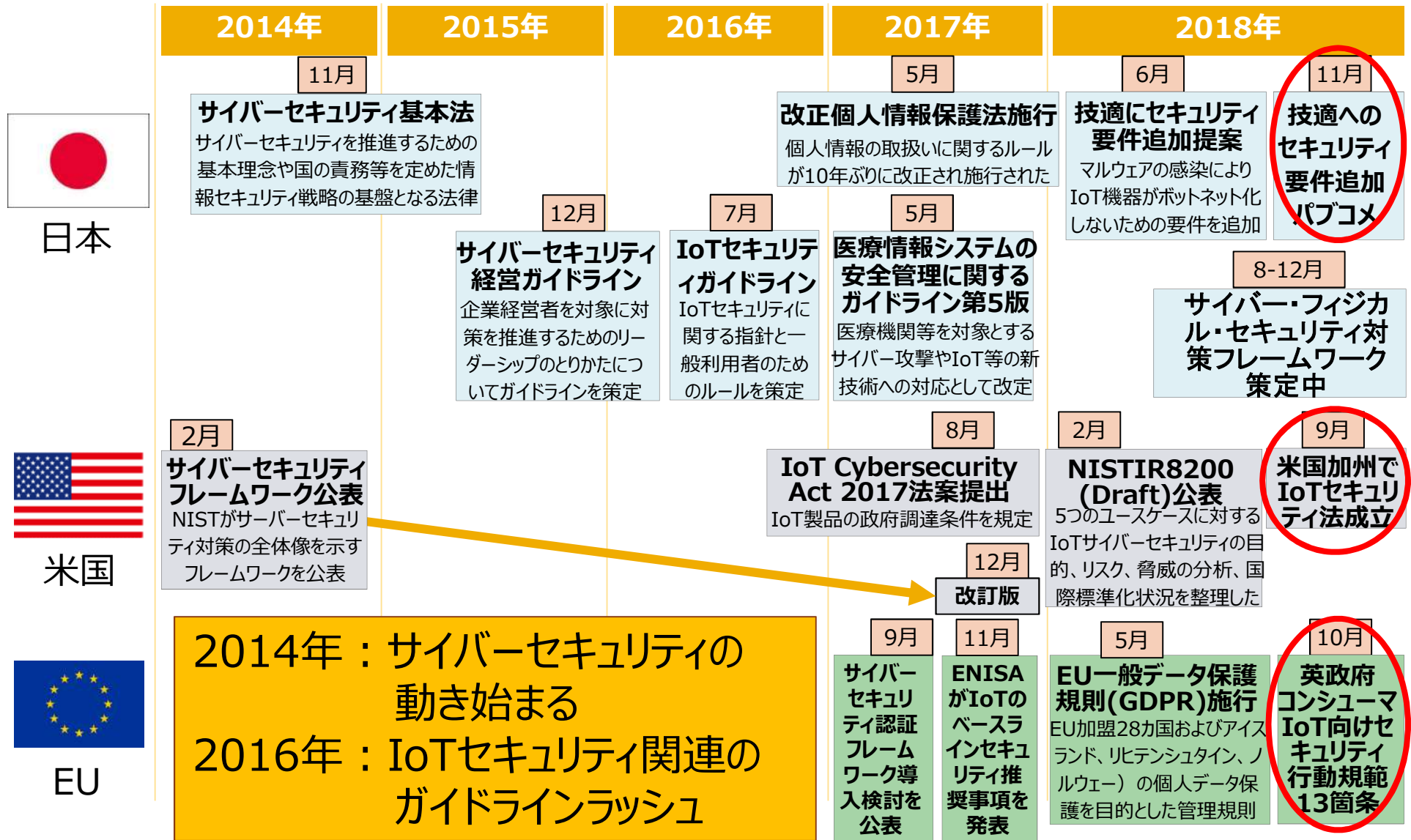
サートیفिकーションWG 主査

J V C ケンウッド PSIRT リーダ

伊藤公祐

-
- IoTセキュリティガイドラインの歴史
 - 近年のIoTセキュリティ要件
 - CCDSサーティフィケーション 2020要件策定に向けて

IoTセキュリティを取り巻く各国の動向



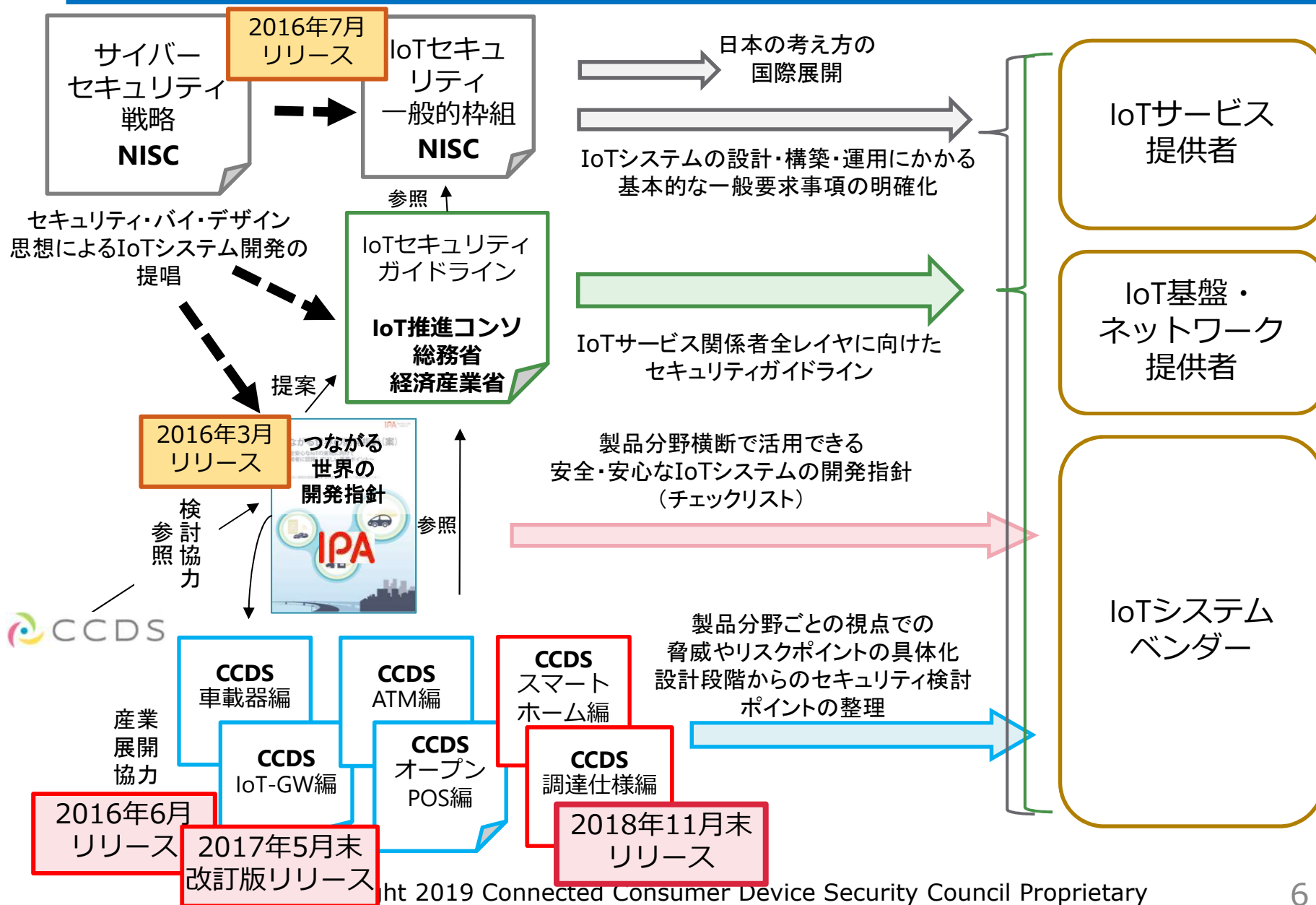
-
- Dept. of Homeland Security
 - STRATEGIC PRINCIPLES FOR SECURING THE INTERNET OF THINGS (IoT)
 - oneM2M:
 - Security Solutions v2.4.1 (TTCより日本語版あり)
 - Security v2.0 (TR analysis)
 - End-to-End Security and Group Authentication v2.0
 - CSA:
 - Security Guidance for Early Adopters of the Internet of Things (IoT)
 - Identity and Access Management for the Internet of Things – Summary Guidance
 - Security Guidance for Smart Health, for Smart Cities, for Smart Retail
 - Analysis of Hardware Security Options for the IoT
 - Checklist for Secure IoT Device Development
 - Internet of Things (IoT)インシデントの影響評価に関する考察 (CSAジャパンより日本語版あり)
 - Future-proofing the Connected World: 13 Steps to Developing Secure IoT Products (同上)
 - OWASP
 - IoT Security Guidance (Draft)
 - https://www.owasp.org/index.php/IoT_Security_Guidance
 - GSMA:
 - IoT Security Guidelines (Overview, for Service Eco-Systems, for End Point Eco-Systems, and for Network Operators)
 - IoT Security Self-Assessment
 - SAE:
 - J3061 (Cybersecurity Guidebook for Cyber-Physical Vehicle)
 - Continua Health Alliance
 - End-to-End Security for Personal Telehealth
- 他にもいっぱいあると思います…

- NISC（内閣サイバーセキュリティセンター）
 - 「IoTセキュリティ一般枠組み」
 - http://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/iot_framework2016.pdf
- IoT推進コンソーシアム（IoTセキュリティWG） ・ 総務省 ・ 経済産業省
 - 「IoTセキュリティガイドライン」
 - <http://www.iotac.jp/wg/security/>
- IPA
 - 「つながる世界の開発指針」
 - <https://www.ipa.go.jp/files/000051411.pdf>
 - 「つながる世界の開発指針の実践に向けた手引き <高信頼化機能編>」
 - <https://www.ipa.go.jp/files/000059278.pdf>
- JNSA（IoTセキュリティWG）
 - 「コンシューマー向けIoTセキュリティガイド」
 - http://www.jnsa.org/result/iot/data/IoTSecurityWG_Report_Ver1.pdf
- CCDS
 - 「分野別セキュリティガイドライン」
車載器編、IoT-GW編、オープンPOS編、ATM編
 - CCDSホームページ「公開資料」コーナーで一般公開中！
 - https://www.ccds.or.jp/public_document/

他にもあるかも…

2016年は国内外で
ガイドラインラッシュ

IoTセキュリティガイドラインの整備状況

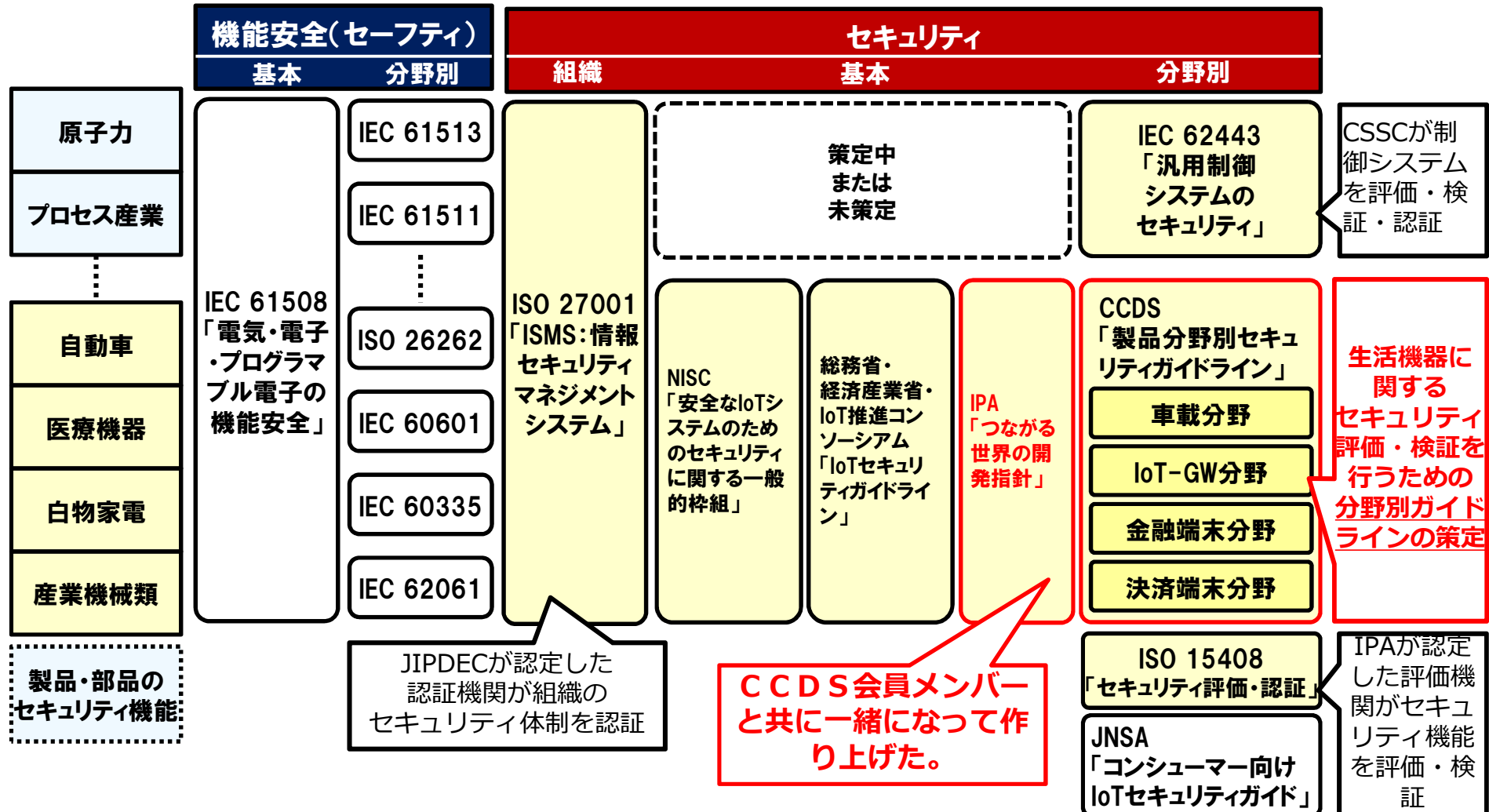


規格策定への取り組み（2016-2018年度）

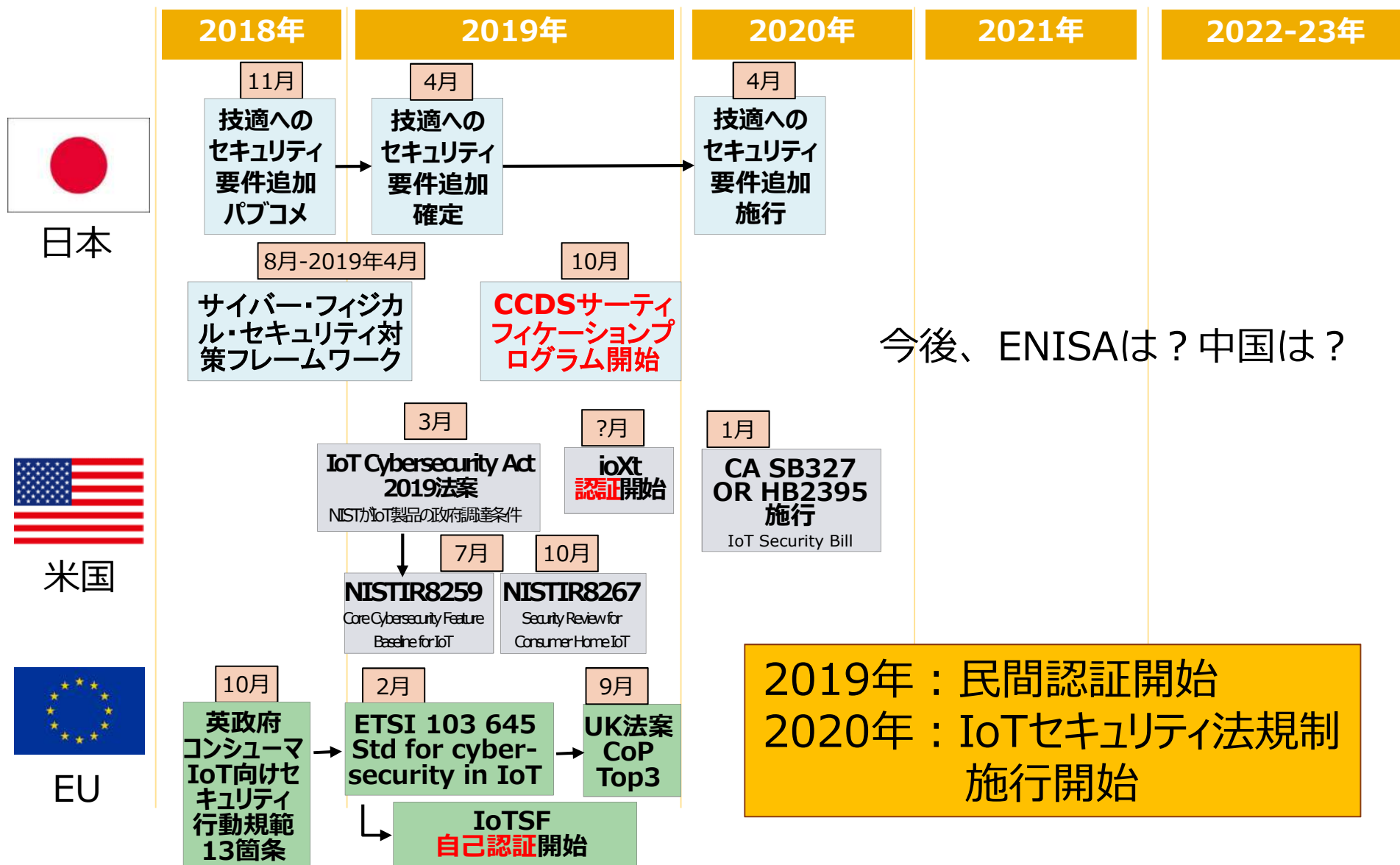


<セーフティとセキュリティの国際規格の策定状況>

NISC:内閣サイバーセキュリティセンター
 CSSC:技術研究組合制御システムセキュリティセンター
 IPA:独立行政法人情報処理推進機構
 JIPDEC:一般財団法人日本情報経済社会推進協会
 JNSA:特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会



IoTセキュリティを取り巻く各国の動向



1. **Web入力経路**によるSQLインジェクションの不具合がないこと
2. **Web入力経路**によるクロスサイトサイトリクエストフォージェリの不具合がないこと
3. **Web入力経路**によるパストラバーサルの不具合がないこと
4. **未使用ポートを外部より使用されないこと**
5. システム運用上、必要なポートには、適切なアクセス認証方法（**機器毎にユニークなID/パスワード、もしくは外部公開の恐れのない管理されたID/パスワード**）で管理されていること
6. **認証情報の設定変更が可能なこと**
 - 初めて利用する際、設定変更を促すこと
 - ID/パスワードは**ハードコーディングをしないこと**（初期パスワードは共通でも可とする）
 - ※Web管理画面アクセス時のID/パスワードを対象とし、認証鍵は対象外とする
7. **利用者の設定した情報、および機器が利用中に取得した情報は、容易に消去する機能を有すること**
*ただし、更新されたシステムソフトウェアは維持されること
8. Wi-Fiアライアンス推奨の**最新の認証方式**が装備されていること
9. BluetoothSIG推奨の**最新のペアリング方式**が装備されていること
10. システム運用上、（USB）**不要なクラス**を認識できないこと
11. **ソフトウェア更新が可能なこと**
 - ソフトウェア更新された状態が電源OFF後も維持できること

CCDSサーティフィケーションプログラム始動



- 11要件でスタート
- NHKニュース、日経、共同通信で配信
- マーク取得製品
 - 業務用カメラ
 - ATM
 - 決済端末
 - 給湯リモコン
 - 雨戸シャッター
- サイバー保険自動付帯



- サイバーセキュリティ関係法令の調査検討等を目的としたサブワーキンググループ



The screenshot shows the NISC website page for the sub-working group. The header includes the NISC logo and the text "内閣サイバーセキュリティセンター National center of Incident readiness and Strategy for Cybersecurity". A search bar is located in the top right corner. The main content area is titled "サイバーセキュリティ関係法令の調査検討等を目的としたサブワーキンググループ" and lists several documents for download, each with a PDF icon. The documents are: 根拠, 委員等名簿, タスクフォース設置根拠, and タスクフォース構成員等名簿. Below this, the "第4回会合 (令和元年9月5日)" section lists meeting materials: 議事次第, 資料1 (法令・ガイドライン等の2次調査結果), 資料2 (法令集Q A一覧 (案)), and 資料3 (本日の議論テーマについて). The "資料2" item is circled in yellow. A right-hand sidebar contains a navigation menu with items like HOME, 報道発表資料等, 内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)とは, 活動内容, 会議, サイバーセキュリティ戦略本部, 調査研究, 主要公表資料, 広報活動, 関連サイト, 関連法令等, and リンクと著作権について.

- 技術の面
 - AI for Security（セキュリティ確保にAIを活用）
 - 予防－検知－対処
 - Security for AI（AIの信頼性確保のためのセキュリティ）
 - 教師データや遺伝的アルゴリズム操作対処

- 倫理の面
 - AIの振る舞い・結果に対する説明責任
 - 悪意あるAI vs 善意のAI
 - 裏側にいるエンジニアの倫理

分野別セキュリティガイドラインなど
CCDSホームページ「公開資料」コーナーで
無料公開中！

https://www.ccds.or.jp/public_document/

本日はご清聴ありがとうございました